

労務 ROAD

令和元年 雇用状況まとめ

令和元年度の最終回ということで、ここ数か月の間に厚生労働省から発表された、今年の雇用状況データをまとめたものをお伝えします。

新規学卒者決定初任給調査結果 (2019年3月卒業者)	<ul style="list-style-type: none"> すべての学歴で前年を上回った 大学卒 210,200円 (前年比 1.7%増) ※初の21万円越え 高校卒 167,400円 (同 1.4%増) また、男女ともに、すべての企業規模において前年を上回っている
令和元年度賃金引上げ等の実態に関する調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 定期昇給・ベア等賃上げを実施した企業の割合: 90.2% (前年比 0.5ポイント上昇) ※比較可能な1999年以降で最高(初の9割超え) 1人当たりの改定額は月 5,592円 (対前年 83円減)
高齢者の雇用状況 (6月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> 65歳までの雇用確保措置がある: 161,117社 (99.8%) 65歳定年の企業: 27,713社 [2,496社増] (17.2%) 中小企業では 25,938社 [2,253社増] (17.9%) 66歳以上働ける制度のある企業: 49,638社 (30.8%) 70歳以上働ける制度のある企業: 46,658社 (28.9%) 定年制の廃止企業: 4,297社 [184社増] (2.7%) 中小企業では 4,209社 [177社増] (2.9%)
日本の労働生産性の動向 2019 (2018年度の結果)	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度の時間当たり名目労働生産性は 4,853円 実質(時間当たり)労働生産性上昇率は ±0%。 ※7年ぶりに前年度水準を下回った。 企業は人手不足を懸念して雇用を増やしたものの、経済が見込んだほど拡大しなかったため、人手を確保しつつも労働時間の削減で企業活動を調整しようとしたことが生産性の動向にも反映されたものとみられる。

【厚生労働省・公益財団法人日本生産性本部 より】

年末のご挨拶 (労務 ROAD 編集担当より)

2019年の年明けから新メンバーで労務 ROAD の発行を担当させていただき、1年が経ちました。毎週の記事の内容はいかがでしたでしょうか。少しでも皆様のお役に立てていれば幸いです。来年も、より良い内容の労務 ROAD を配信できるよう、日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



(編集担当: 矢尾・君野・川端)

年末年始休業のお知らせ

誠に勝手ながら12月28日(土)から1月5日(日)まで休業とさせていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

VOL.676
(1912-5)



(旧 河本社労士事務所)

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町
1-9-26 船場 IS ビル 5F
TEL:06-6264-6264
FAX:06-6264-6265
HP: <https://k-s-j.net/>
編集担当: 矢尾・君野・川端

社長が入れる
労災保険のことなら
「葛城経営研究会」

詳しくは、
06-6264-6543 まで!



RPA チームの山本です。
RPA とは、デスクワークのうち主に定型作業をパソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代わりに処理してくれるものです。働き方改革に伴う業務効率化や人手不足を解消するためのツールとして注目を集めており、弊所での導入に向けて活動しております。ノウハウを蓄積し、皆様にもご提案させていただきます!
(RPA チーム 山本)

12月 労務スケジュール

- ・年末調整
- ・賞与支払届の届出
(12月支給の場合)
- ・ハラスメント防止月間